

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるよう!

私たちは地域・職域・学校など、
生活のいろいろな場面で
「健康寿命」をのばす運動を
実践しています。

よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

2011(平成23)年2月15日 第450号

(財)東京都予防医学協会
(財)予防医学事業中央会東京都支部
発行人 北川照男・編集人 山内邦昭
発行所 〒162-8402
東京都新宿区市谷砂土原町1の2
保健会館 電話 03-3269-1131
http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp

毎月15日発行



● 今月の主な紙面 ●

(1面) ● 今、求められる新型インフルエンザ対策
第231回学校保健セミナー

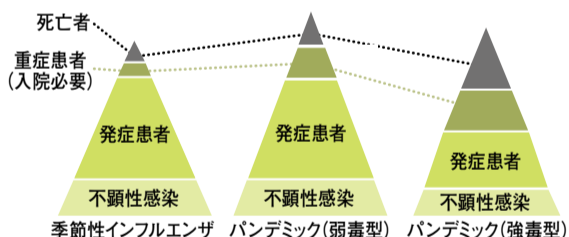
(2・3面(見開き))

- 連載 歯の喪失は予防できる
人生の最後までおせんべいをバリバリと 第7回
- 新連載 PKUの生涯治療 食事療法の重要性 第1回
- 連載 健康づくり・健康増進を支援するページ
元気でいきいきシリーズ 第8回:医師/保健師/
管理栄養士/健康運動指導士のコラム

(4面) ● 犯罪からの子どもの安全シンポジウム

- 子どもたちを虐待からまもる
- 第1回保健指導・健診部会が開催
- 新刊紹介/「毒性別新型インフルエンザ対策
完全マニュアル」

図1 インフルエンザの病原性別の健康被害の比較



*パンデミックでは、感染者、重症患者、死亡者の数が増加し、さらに強毒型では重症患者、死亡者の割合が増える。
*病原性によって重症患者、死亡者の出る割合は大きく異なる。

さらに岡田氏は、「わが国の新型対策の行動計画は、強毒型

の新型H5N1を想定している」と指摘した。また、国内の最新研究データや、病原性別の健康被害の比較(図1)などを示しながら、甚大な被害が想定される新型H5N1発生の可能性と対策の重要性について次のように解説した。「強毒型鳥インフルエンザH5N1は、新型H1N1ウイルス流行中も淘汰されることなく独立して流行し、09年以降も人への感染報告が増え続けている。現時点ではH5N1はトリ型ウイルスだが、ヒト型ウイルスに近づく変異も次々と生じている。また、新型H1N1との同時感染によりウイルス遺伝子の交雑が起これば、強毒型の新型が出現する可能性もある。中国、インドネシアなどでは、豚でのH5N1ウイルス感染も報告されている。」

H5N1から新型が発生した場合、強い病原性が保たれる可能性が高く、その致死率は5~15%(シンガポール政府資料)と推定される。これまでの新型とは桁違いの健康被害や経済破綻、社会的損失が予測されるため、H5N1に対し万全の対策を講じることが肝要だ。

「わが国の新型対策の行動計画は、強毒型

2009年春、新型インフルエンザ(新型)H1N1が発生。わが国での流行は比較的軽微な状態に留まっている(11年1月中旬時点)。一方、強毒型鳥インフルエンザ由来のH5N1からの新型発生のリスクは依然として続いている。台湾やスイスなどでは、新型H5N1による未曾有の災害に備え、重症化の軽減が期待できるプレパネミックワクチンの事前接種を09年夏以降に開始した。わが国でも、ワクチン体制の整備をはじめとする対策が急がれる。こうした中、東京都学校保健会と本会が主催する第231回学校保健セミナーでは、去る11月26日、21世紀政策研究所シニア・アソシエイトの岡田晴恵氏(写真)を講師に招き、「学校における新型インフルエンザ対策」と題する講演を開催した。セミナーには、養護教諭や学校関係者ら約300人が参加し、熱心に耳を傾けていた。



岡田晴恵氏は、まず、弱毒型鳥インフルエンザ由来の新型H1N1ウイルスの概要や流行状況(2010年11月時点)を示し、「主に0歳から20代に感染者が多く、10歳以下で重症化の割合が高い。また、高齢者では発症は少ないものの、発症者では死亡率が高い」と分析した。

また、諸外国に比べてわが国で健康被害が少ない推定理由として、①医療へのアクセスや医療サービスが良好②多くの患者に対する早期のタミフル投与の効果③公衆衛生上の介入(学校閉鎖など)の効果④清潔な生活様式などをあげた。

その上で「新型H1N1では、ウイルスが弱毒型だったことや、多くの成人が過去のH1N1ウイルスとの交差免疫を持っていたため、流行規模や健康被害が小さく抑えられた。また、北米から発生したため、アメリカ疾病対策センター(CDC)によるウイルスの検査や解析が速やかに行われ、世界各国への情報発信と初動対応が迅速に行われた。さらに、多くの国で新型H5N1を想定した対策が進められていたため、これが機能した」とし、「これらの『幸運』なしでは、健康被害や社会機能への影響は、より深刻だったであろう」と述べた。

一方、わが国の新型対策に関しては、「過剰対応のみが強調され、新型でも季節性インフルエンザ並の健康被害で済むなどという誤った安心感が広がり、対策の本質である強毒型H5N1ウイルスへの

H5N1から新型が発生した場合、強い病原性が保たれる可能性が高く、その致死率は5~15%(シンガポール政府資料)と推定される。これまでの新型とは桁違いの健康被害や経済破綻、社会的損失が予測されるため、H5N1に対し万全の対策を講じることが肝要だ。

「わが国の新型対策の行動計画は、強毒型

の新型H5N1を想定している」と指摘した。また、国内の最新研究データや、病原性別の健康被害の比較(図1)などを示しながら、甚大な被害が想定される新型H5N1発生の可能性と対策の重要性について次のように解説した。「強毒型鳥インフルエンザH5N1は、新型H1N1ウイルス流行中も淘汰されることなく独立して流行し、09年以降も人への感染報告が増え続けている。現時点ではH5N1はトリ型ウイルスだが、ヒト型ウイルスに近づく変異も次々と生じている。また、新型H1N1との同時感染によりウイルス遺伝子の交雑が起これば、強毒型の新型が出現する可能性もある。中国、インドネシアなどでは、豚でのH5N1ウイルス感染も報告されている。」

H1N1流行の教訓踏まえ 来るべき強毒型への準備を

今、求められる 新型インフルエンザ対策

第231回学校保健セミナー

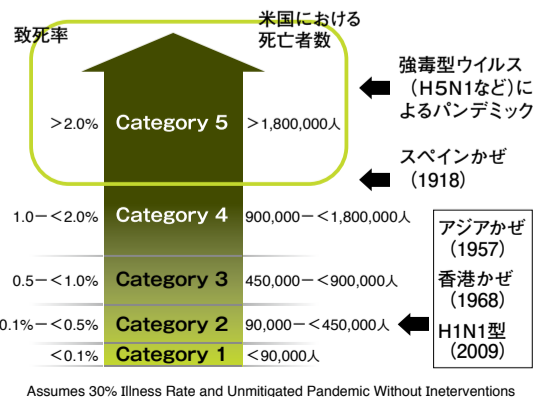
の新型H5N1を想定している」と指摘した。また、国内の最新研究データや、病原性別の健康被害の比較(図1)などを示しながら、甚大な被害が想定される新型H5N1発生の可能性と対策の重要性について次のように解説した。「強毒型鳥インフルエンザH5N1は、新型H1N1ウイルス流行中も淘汰されることなく独立して流行し、09年以降も人への感染報告が増え続けている。現時点ではH5N1はトリ型ウイルスだが、ヒト型ウイルスに近づく変異も次々と生じている。また、新型H1N1との同時感染によりウイルス遺伝子の交雑が起これば、強毒型の新型が出現する可能性もある。中国、インドネシアなどでは、豚でのH5N1ウイルス感染も報告されている。」

H5N1から新型が発生した場合、強い病原性が保たれる可能性が高く、その致死率は5~15%(シンガポール政府資料)と推定される。これまでの新型とは桁違いの健康被害や経済破綻、社会的損失が予測されるため、H5N1に対し万全の対策を講じることが肝要だ。

「わが国の新型対策の行動計画は、強毒型

の新型H5N1を想定している」と指摘した。また、国内の最新研究データや、病原性別の健康被害の比較(図1)などを示しながら、甚大な被害が想定される新型H5N1発生の可能性と対策の重要性について次のように解説した。「強毒型鳥インフルエンザH5N1は、新型H1N1ウイルス流行中も淘汰されることなく独立して流行し、09年以降も人への感染報告が増え続けている。現時点ではH5N1はトリ型ウイルスだが、ヒト型ウイルスに近づく変異も次々と生じている。また、新型H1N1との同時感染によりウイルス遺伝子の交雑が起これば、強毒型の新型が出現する可能性もある。中国、インドネシアなどでは、豚でのH5N1ウイルス感染も報告されている。」

図2 アメリカのパンデミック準備計画における致死率の推定(2007)



送付先の変更・中止について

送付先の住所変更・購読中止の場合には、変更内容を明記の上、本会広報室までお知らせください。

Eメール
thsa-koho@msj.biglobe.ne.jp
FAX 03-3269-7562

お電話(03-3269-1131)でも承っております。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

担当: 江崎良晴 三輪祐一

健康管理コンサルタントセンター

事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1-2
(財)東京都予防医学協会
電話 03-3269-1141

お問い合わせ・
ご相談は事務局まで
(予約制)



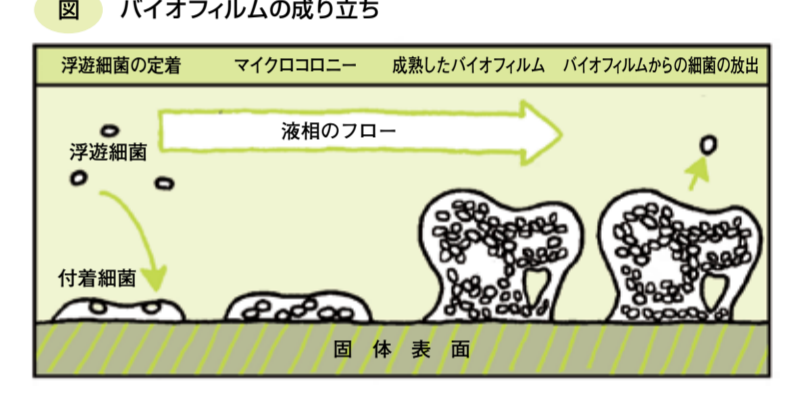
歯の喪失は予防できる

人生の最後までおせんべいを

7

アイランドコーク大学
西 真紀子 歯科医師

写真や石膏模様が引いてボ型もとって、初診時の記録を残します。次に、初期治療として、原因除去は、骨のライを徹底的に行ないます。原因が戻らないように見えますが、腫れを取り除き、歯を固定（スクエーリング）しておくことが重要です。スクエーリングは、歯の根を固定するための重要な治療です。スクエーリングは、歯の根を固定するための重要な治療です。



歯周病への決め手は バイオフィームの管理

歯は周囲の歯を守るために、初期治療の間に、患者一人ひとりの口腔内の状況に合わせて、適切なセルフケアを指導し、コントロール可能な範囲に留めたいです。

歯周病のリスクも、菌の付着が、歯肉の炎症を引き起こし、歯の揺動や脱落の原因になります。歯肉の炎症は、歯の揺動や脱落の原因になります。

米国検診界の5大ニュース 2010年

● 医師のコラム ●

新薬、医療機器の認可や、さまざまな専門分野の医学会のガイドラインの多くが米国内から発信され、それがわが国をはじめ世界各國のマスコミでいち早く取り上げられる傾向があり、わが国の医学界の動向を知るでも参考になる。

そこで、さまざまな電子媒体を介する情報源のうち、米国内専門医学会のガイドラインを中心に、米国で最も話題を呼んだ5大ニュースを予防医学の観点から選定してみた。



PSA, HbA1c, マンモグラフィ, 胸部ヘリカルCT...

がんスクリーニングの有効性を評価する。スクリーニングの有効性を評価する。スクリーニングの有効性を評価する。

入浴で肩こり改善

★温泉で肩こり改善。最近パソコンを使う仕事が増え、肩こりが慢性化しています。作業中になるべくからだを動かしたりしてみませんか？

また、温泉で肩こり改善。最近パソコンを使う仕事が増え、肩こりが慢性化しています。作業中になるべくからだを動かしたりしてみませんか？

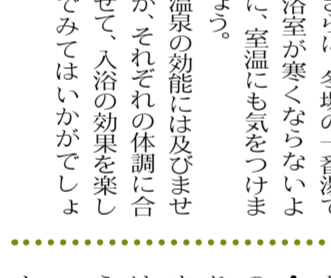
3つ目は、からだを外から温めるお湯そのもの効果です。42℃以上の熱いお湯を好む人が多いようですが、38℃、40℃のお湯に20分ほど浸かると、効果が最も高いとされています。

保健師の体験レポート

★温泉で肩こり改善。最近パソコンを使う仕事が増え、肩こりが慢性化しています。作業中になるべくからだを動かしたりしてみませんか？

また、温泉で肩こり改善。最近パソコンを使う仕事が増え、肩こりが慢性化しています。作業中になるべくからだを動かしたりしてみませんか？

また、静水圧は浴室が寒くならないように、室温にも気を付けましょう。



また、静水圧は浴室が寒くならないように、室温にも気を付けましょう。

元気でいきいき

健康づくり・健康増進を支援するページ

「歴史」今も昔も

現代人の食事1回あたりの咀嚼数が減ってきていることが問題になっています。

4千回の咀嚼が必要とされている。咀嚼数は減ってきていることが問題になっています。

咀嚼数は減ってきていることが問題になっています。咀嚼数は減ってきていることが問題になっています。

運動相談FAQ

● 運動相談FAQ ●

最近、疲れやすくなった。体力をつけるにはどうする？

体力をつけるにはどうする？

体力をつけるにはどうする？

「歴史」今も昔も

現代人の食事1回あたりの咀嚼数が減ってきていることが問題になっています。

咀嚼数は減ってきていることが問題になっています。

咀嚼数は減ってきていることが問題になっています。咀嚼数は減ってきていることが問題になっています。

PKUの生涯治療の重要性

フェニルケトン尿症(PKU)をほおぐとする先天性代謝異常症のスクリーニングの開始から35年余り、発見されたPKUの子どもの中には既に成人した社会で活躍している人も多い。

PKUの生涯治療の重要性。フェニルケトン尿症(PKU)をほおぐとする先天性代謝異常症のスクリーニングの開始から35年余り、発見されたPKUの子どもの中には既に成人した社会で活躍している人も多い。

PKUの生涯治療の重要性

PKUの生涯治療の重要性。フェニルケトン尿症(PKU)をほおぐとする先天性代謝異常症のスクリーニングの開始から35年余り、発見されたPKUの子どもの中には既に成人した社会で活躍している人も多い。

PKUの生涯治療の重要性。フェニルケトン尿症(PKU)をほおぐとする先天性代謝異常症のスクリーニングの開始から35年余り、発見されたPKUの子どもの中には既に成人した社会で活躍している人も多い。

体力を上げるにはどうする？

体力を上げるにはどうする？

体力を上げるにはどうする？

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

体力の分類

犯罪からの子どもの安全シンポジウム 子どもたちを虐待からまもる

早期発見と適切な対応に向け 技術開発や地域連携が急務

子どもへの虐待が深刻な社会問題となつてい

る。虐待は、後遺症や死に至ることも多く、早期発見による適切な介入が求められる。一方、虐待を科学的に判断する基準がないことや、関係組織間の連携不足などが対策を阻む要因とされる。こ

うした中、科学技術振興機構・社会技術研究開発センター(RISTEX)による犯罪からの子どもの安全シンポジウム「子どもたちを虐待からまもる」(座長・山中龍宏産業技術総合研究所チーム長、緑園こどもクリニック院長)が、去る12月9日、東京・千代田区の九段会館で開催された。

全国の児童相談所における児童虐待の相談対応件数は年々増加し、2008年度には4万2664件に達した。これは、統計を取りはじめた1990年の実に34倍という数字である。

こうした状況を踏まえ、RISTEXでは、07年から、先進的な取り組みを行っている医療者や工学系研究者らを中心に、「犯罪からの子どもの安全」虐待防止プロジェクトを開始している。

プロジェクトでは、虐待による傷害・死亡と不慮の事故とを判別する支援技術や、虐待情報を共有する技術の開発、児童相談所や医療機関、学校、警察など関係組織への

情報提供、虐待の早期発見と適切な対応が可能な地域社会システムの在り方の提言など、虐待防止に向けた研究を行っている。

シンポジウムは、同プロジェクトの概要報告や情報交換を目的に開催。「大規模傷害データをを用いた加害行為による外傷診断技術」「乳幼児揺さぶられ症候群における眼底出血の発生機構の解析」「歯科・口腔からの虐待発見・予防アプローチ」「虐待の情報の問題点とその解決に向けて」「虐待早期発見・予防に向けた社会的バリア分析」など14のテーマについての研究成果が報告された。

このうち「小児虐待対応の地域連携の取り組み」と題して報告した大阪市東住吉区保健福祉センターの前川寿子保健副主幹は、大阪市の虐待対応システム構築の経緯を紹介。虐待への気づきや見逃し防止、さまざまな関係機関との情報共有の円滑化などを目的に開発した「アセスメントシート」活用の実例、虐待防止ネットワークの拡大を目指す地域連携の取り組みなどを報告した。

山中龍宏チーム長は、「プロジェクトでは、工学系の視点、予防の観点、コスト分析など多様な分野による虐待防止に向けた研究を進めている。また、ウェブサイト(http://www.cibec.jp/、http://www.cibec.jp/dept./jp/index.html)では、情報提供も行っているの

で、広く活用してもらいたい」と述べ、シンポジウムを締めくくった。

●ケニア・ニヤンザ州保健マネジメント強化プロジェクト国際協力機構は、日本の地域保健行政などについての研修員が本会で研修

その番組内で、2月21日に本会の坂佳奈子がん検診断断部部長が乳がんについて、2月23日に長谷川壽彦検査研究センター長が子宮頸がんについて解説する予定。

第236回ヘルスケア研修会

第236回ヘルスケア研修会

第236回ヘルスケア研修会

第236回ヘルスケア研修会

第1回保健指導・健診部会が開催

健康開発科学研究会

保健指導・健診部会(主催・健康開発科学研究会)が「特定健康診査・特定保健指導の制度を検証する」(部会長・吉田勝美日本総合健康医学大副理事長)と題して、5回シリーズで開催される。その第1回が「労働安全衛生法(安衛法)と特定健康診査・特定保健指導をテーマに、去る12月18日、本会を会場に行われた。

はじめに、産業医科大学産業生態学研究所の堀江正知所長が、「特定健康診査・特定保健指導と一般定期健康診断」と題し、講演を行った。

堀江所長は、職場における健康管理担当者への対応や産業保健と特定健康診査との調整と連携について概要を述べた上で、「特定健康診査等」これまで保健指導を受けていなかった労働者の生活習慣が改善するのかが課題」と指摘した。

さらに「安衛法の保健指導と特定保健指導は、別々の制度である。特定保健指導を実施したとしても安衛法の保健指導を中止すべきではない。事業者と保険者との分担と連携により、事業者が本来実施すべき職場や職務の改善に力を注げるかどうか、本事業の今後の課題だ」と述べた。

次に、東京工科大学産業保健実践研究センターの飯島美世子客員教授が、「保健指導マニュアルは本当に必要か」と題し、講演を行った。

飯島客員教授は、現場からの特定保健指導に対する意見、保健指導の本来の在り

方、保健指導や健康教育技術の変遷などについて解説し、次のように述べた。

「本事業は軽度の有見者に対して保健指導を行うのに、よききっかけとなった。しかし『守る』と『努める』を区別せず、ポイント制等の例示に束縛されていることが問題である。マニュアルにとらわれず、本当に必要な保健指導の実践が大切だ。」

講演終了後の討論では、参加者を変えた、活発な意見交換が行われた。

講演終了後の討論では、参加者を変えた、活発な意見交換が行われた。

毒性別 新型インフルエンザ対策 完全マニュアル

田代真人 監修 / 岡田晴恵 著

新刊紹介

「H1N1型新型の流行以来、本来危惧されていたH5N1型強毒性新型への対策のほとんどが頓挫、停滞している」(今こそ、H5N1型対策を再開、強化せねば、その発生に間に合わない事態となる)と警鐘し、「これは危機管理、安全保障の問題であり、その脅威が続く以上、国民の生命と社会の維持のためにどうしてもなすべきならぬ施策である」と訴える。

本書は、「重症度別のシミュレーションと対策のポイント」を、今後の新型対策を進める上で必携の一冊である。

当日会場受付で参加費2千円を支払えば、どなたでも入場できます。

定員先着400人。

人・往来

中国・国家人口計画生育委員会訪日団が本会を視察

家族計画国際協力財団は、日本の人口、母子・地域保健活動などの見学を目的とした中国・国家人口計画生育委員会訪日団23人を受け入れた。

その一行が12月10日、本会の施設や事業を視察した。

お知らせ

テレビ朝日「東京サイト」

女性の健康

2月21日(月)25日(金)
13時55分~13時59分
放映予定

東京都の広報番組「東京サイト」(テレビ朝日)では、3月1日から8日までの女性の健康週間(先駆)に、2月21日から25日まで、「女性の健康」を放映する。

その番組内で、2月21日に本会の坂佳奈子がん検診断断部部長が乳がんについて、2月23日に長谷川壽彦検査研究センター長が子宮頸がんについて解説する予定。

第236回ヘルスケア研修会

第236回ヘルスケア研修会

従来のCAVI・ABIに加え、 末梢動脈疾患(PAD) 診断機能を強化!

血圧脈波検査装置(CAVI/ABI)
VaSera VS-1500Aシリーズ
医療機器承認番号: 22100BZX00762000



●TBI専用ユニット(ポンプ内蔵)で高性能を実現

新たに開発した足趾血圧ユニットTPU-15(ポンプ内蔵)により、脈波計測感度をあげることでTBI計測精度を大幅に上げました。

●負荷ABI機能の追加

フクダ電子は独自のABI負荷装置VSL-100(オプション)を開発しました。更に負荷ABIの解析ソフトウェアを充実。



CAVI ABI TBI

FUKUDA DENSHI

本社 / 〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL (03) 3815-2121 (代) http://www.fukuda.co.jp
お客様窓口... ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月~金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00
●医療電子機器の総合メーカー **フクダ電子株式会社**